



春を告げる妖精 「カタクリの花」

2014.3.28.

花言葉は
「初恋」・「寂しさに耐える」

地球氷河期の生き残り
8年かけて 地表に顔をだし
日陰の山腹の斜面で 冷たい風に身を打ち震わせて
立ち向かう姿に 心をゆさぶられる

山合いを千種川が流れ下り、
四季折々 花が咲く静かな花の山郷
兵庫県播磨 佐用町 南光・三日月地区

その里山の傾斜地に
春の訪れを告げる「片栗の花」の群生地
旧南光町 東徳久殿崎 & 旧三日月町 弦谷



【写真アルバム】

古代たたらの里 西播磨千種川が流れ下る西播磨佐用に春を告げるカタクリの花を訪ねる

2014.3.28. 1404katakuri00.htm by Mutsu Nakanishi

3年ぶり まだ冷たい風が吹く山の斜面で 元気に身を震わせ立ち向かうカタクリの姿に出会えました



西播磨佐用のカタクリの群生地 旧南光町東徳久殿崎を流れ下る千種川 と 旧三日月町弦谷のすぐ近くの丘にある旧三日月藩陣屋 2014.3.28.

◇ 古代たたらの里 西播磨千種川が流れ下る西播磨佐用に春を告げるカタクリの花が咲



西播磨の春の訪れを告げる佐用町「片栗の花」の群生地
旧南光町 東播磨殿崎 & 旧三日月町弦谷
2014.3.28



また、毎年 桜便りが届き始めると咲くのが気になる「カタクリの花」
春の妖精とも呼ばれる地球氷河期の生き残りの可憐な花
8年かけて地表に顔を出し、山の斜面にすくっと立って、まだ肌寒い風に、身を震わせる。
その姿に魅了され、また エネルギーをもらう。

2011年以來の西播磨 佐用のたたらの里に咲くカタクリの花 探訪
今年はぜひとも出会いたいと3月28日 待ちかねた春の陽ざしに 西播磨佐用のカタクリの里へ
まだ、咲きはじめてでしたが、元気な姿に出会ってきました。



山あい千種川が流れ下り、四季折々 花が屁作静かな山郷 兵庫県西播磨佐用
春の訪れを告げる「カタクリ」の群生地 旧南光町殿崎 & 旧三日月町弦谷

私には一番好きな「カタクリの花」 今年も元氣をもらって 前向いて



東徳久 殿崎のカタクリ群生地 2014.3.28.
千種の山から流れ出た千種川が北東から南西へ 古代たたら郷 旧南光町徳久を流れ下る その河岸の山裾のなだらかな南斜面に広がる



旧三日月町 弦谷のカタクリ群生地 2014.3.28.
旧南光町東徳久とは尾根筋を挟んで南側に広がる旧三日月町 志文川南岸の山裾北斜面に広がる



姫路から佐用を抜けて出雲への街道筋と千種への街道の結節点の城下町 旧三日月町
カタクリが咲く旧三日月町弦谷の北側 対岸の丘の上には今も立派な陣屋が残り、旧三日月町の街道筋・志文川を見下ろしている。

この志文川はカタクリの群生地 東徳久殿崎とは尾根筋を挟んで、東側の谷筋を南へ流れ下って旧三日月町の西で千種川にそそぐ。
また、この千種から流れ出た志文川の谷筋にも転々とたたら跡が残るが、今はそんな喧噪も忘れた静かな山郷である

【写真アルバム】

古代たたらの里 西播磨千種川が流れ下る西播磨佐用に春を告げるカタクリの花を訪ねる
 2014.3.28. 1404katakuri00.htm by Mutsu Nakanishi
 3年ぶり まだ冷たい風が吹く山の斜面で 元気に身を震わせ立ち向かうカタクリの姿に出会えました



春を告げる妖精
 「カタクリの花」

2014.3.28.

花言葉は

「初恋」・「寂しさに耐える」

地球氷河期の生き残り
 8年かけて 地表に顔をだし
 日陰の山腹の斜面で 冷たい風に身を打ち震わせて
 立ち向かう姿に 心をゆさぶられる

山合いを千種川が流れ下り
 四季折々 花が咲く静かな花の山郷
 兵庫県播磨 佐用町 南光・三日月地区
 その里山の傾斜地に
 春の訪れを告げる「片栗の花」の群生地
 旧南光町 東徳久殿崎 & 旧三日月町 弦谷

【参考 1 西播磨佐用 カタクリの里 探訪】

1. 2011年春の訪れを告げるカタクリの花古代鉄関連地の山陰に咲く花を今年も訪ねました 2011.4.5.
 西播磨 佐用町 弦谷のカタクリ
<http://www.infokkna.com/ironroad/2011htm/walk8/1105katakuri00.htm>
2. 【写真アルバム】春の妖精 カタクリの花 兵庫県播磨 佐用町 2010.4.8.
<http://www.infokkna.com/ironroad/2010htm/walk7/1005katakuri00.htm>
3. 【写真アルバム】西播磨佐用 たたらの里に咲く「カタクリと一本桜」を訪ねる 2009.3.31.
 兵庫県佐用町〔旧三日月町 弦谷 & 旧南光町徳久・漆畑〕
<http://www.infokkna.com/ironroad/2009htm/walk6/0905sayo00.htm>

【参考 2 古代たたらの里 西播磨 佐用】

1. 久しぶりに西播磨 古代からの製鉄の地「宍粟市千種」を訪ねる 2013.7.19.
 千種天児屋たたら跡・岩鍋古代製鉄発祥の地伝承の碑を訪ねる
<http://www.infokkna.com/ironroad/2013htm/iron9/1308chigusa00.htm>
2. 播磨国風土記和鉄の道【1】 古代製鉄の一大生産地「讃容の里」Walk 2003.11.14.
 西播磨 佐用町 大撫山製鉄遺跡を訪ねて
<http://www.infokkna.com/ironroad/dock/iron/4iron01.pdf>

【写真アルバム】

古代たたらの里 西播磨千種川が流れ下る西播磨佐用に春を告げるカタクリの花を訪ねる

2014.3.28. 1404katakuri00.htm by Mutsu Nakanishi

3年ぶり まだ冷たい風が吹く山の斜面で 元気に身を震わせ立ち向かうカタクリの姿に出会えました



春を告げる妖精 「カタクリの花」

2014.3.28.

花言葉は

「初恋」・「寂しさに耐える」

地球氷河期の生き残り

8年かけて 地表に顔をだし

日陰の山腹の斜面で 冷たい風に身を打ち震わせて

立ち向かう姿に 心をゆさぶられる

山合いを千種川が流れ下り、

四季折々 花が咲く静かな花の山郷

兵庫県播磨 佐用町 南光・三日月地区

その里山の傾斜地に

春の訪れを告げる「片栗の花」の群生地

旧南光町 東徳久殿崎 & 旧三日月町 弦谷



桜便りが届きはじめると 毎年彙になる 春の妖精「カタクリの花」

今年はぜひとも西播磨佐用のカタクリの花を訪ねたくて
少し早いのですが、3月28日西播磨佐用のカタクリの群生地を訪ねました
西神戸 雌岡山周辺も 桜が咲き始め、もうすっかり春色です
この西神戸雌岡山の頂上近くの斜面にもカタクリの群生地がありますが、
まだ カタクリはまだ 地中の中。 元気に顔を出すのを待っています



春を迎えた 西神戸 雌岡山の山裾 神出の里 2014.3.28



春を迎えた 西神戸 雌岡山の山裾 神出の里 2014.3.28.



春を迎えた 西神戸 雌岡山の山裾 神出の里 2014.3.28.



雌岡山カタクリの群生地では
カタクリの花に先立つ 雪割草が花を咲かせ始めていました
春を迎えた西神戸神出 雌岡山中で 2014.3.28.

西神戸から小野・加西をぬけて、西播磨の山郷 宍粟市旧山崎町から佐用への道をたどる

佐用へたどる街道筋 川岸に菜の花そして桜も咲き出し、
土手を駆ける子どもたちの歓声 のどかな山郷はすっかり春色です



西播磨 宍粟市旧山崎町で 2014.3.28.



西播磨 宍粟市旧山崎町で 2014.3.28.



西播磨 宍粟市旧山崎町で 2014.3.28.



西播磨 宍粟市旧山崎町で 2014.3.28

中国道に沿って 山深い切窓峠をこえると間もなく見慣れた佐用 上三河の三叉路

山里を取り囲む里山もすっかり春色 いつ来てもうれしい佐用 山里の風景が広がっています
ここから南へ千種川沿いを下れば 下野・漆野・徳久と古代たたらの里が続く ちょっと時期的には
はやいが、カタクリは咲いているだろうか???? 3年ぶりの出会いです

春を迎えた西播磨 佐用町 旧南光町上三河の山郷 2014.3.28.





春を迎えた西播磨 佐用町 旧南光町上三河の山郷 2014.3.28.



春を迎えた西播磨、千種川が流れ下る佐用町下野の里 2014.3.28.



春を迎えた西播磨 千種川が流れ下る佐用町下野の里 2014.3.28.



春を迎えた西播磨 千種川が流れ下る佐用町下野の里 2014.3.28.



春を迎えた西播磨 千種川が流れ下る佐用町漆野 2014.3.28.

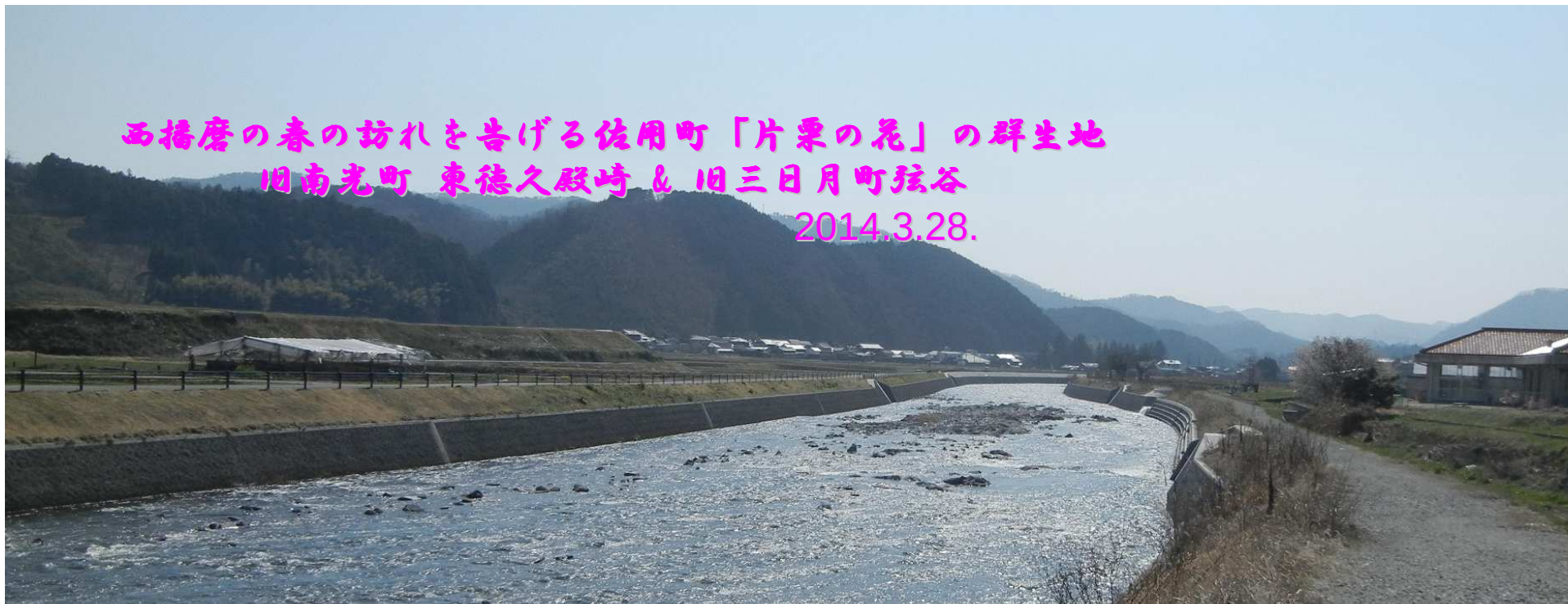


春を迎えた西播磨 千種川が流れ下る佐用町漆野 2014.3.28.

西播磨の春の訪れを告げる佐用町「片栗の花」の群生地

旧南光町 東徳久殿崎 & 旧三日月町弦谷

2014.3.28.



西播磨の山あいを千種川が流れ下る山裾の傾斜地
春の訪れを告げる「カタクリの花」の群生地
川南光町 東徳久殿崎 2014.3.28.











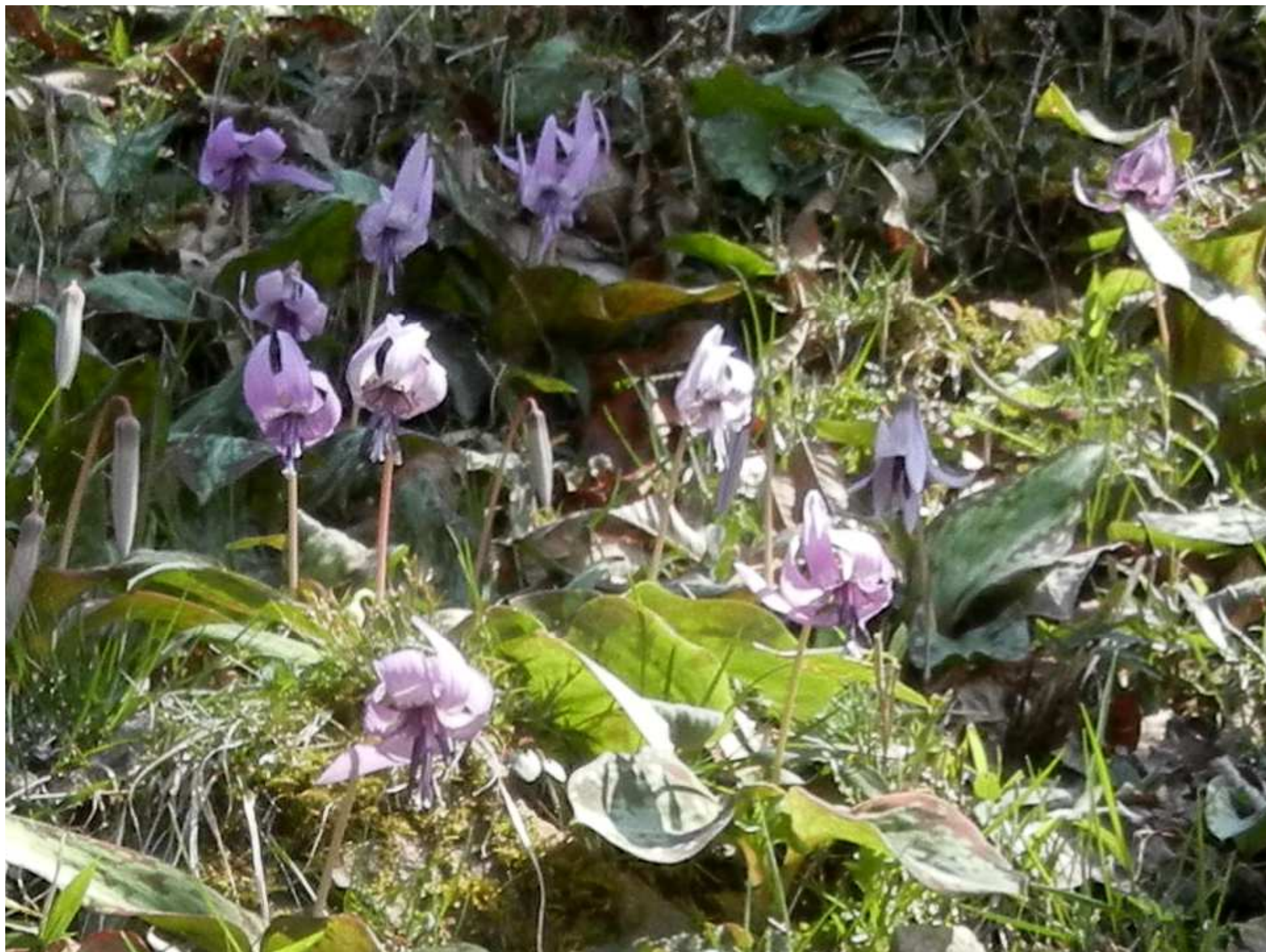




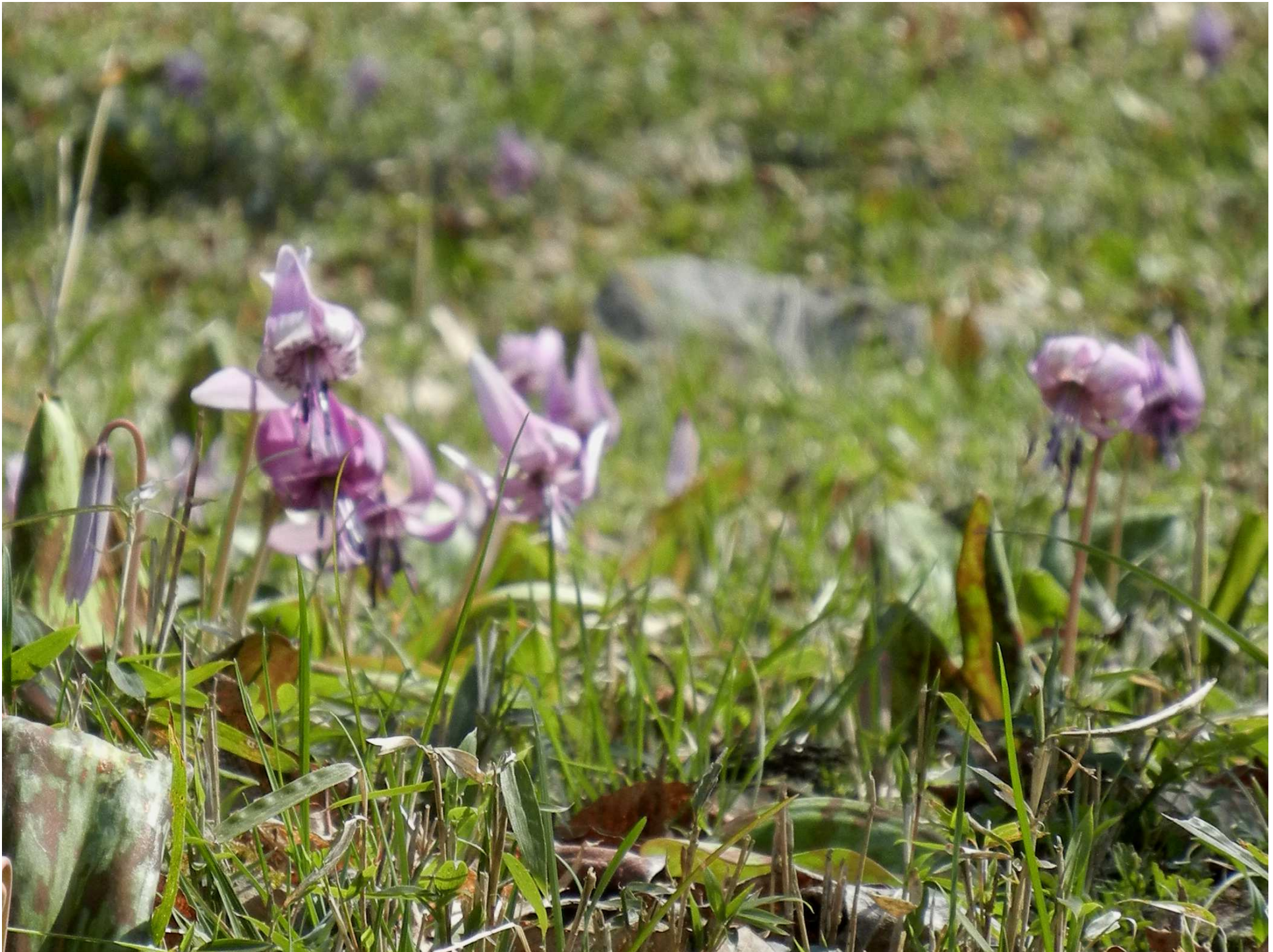


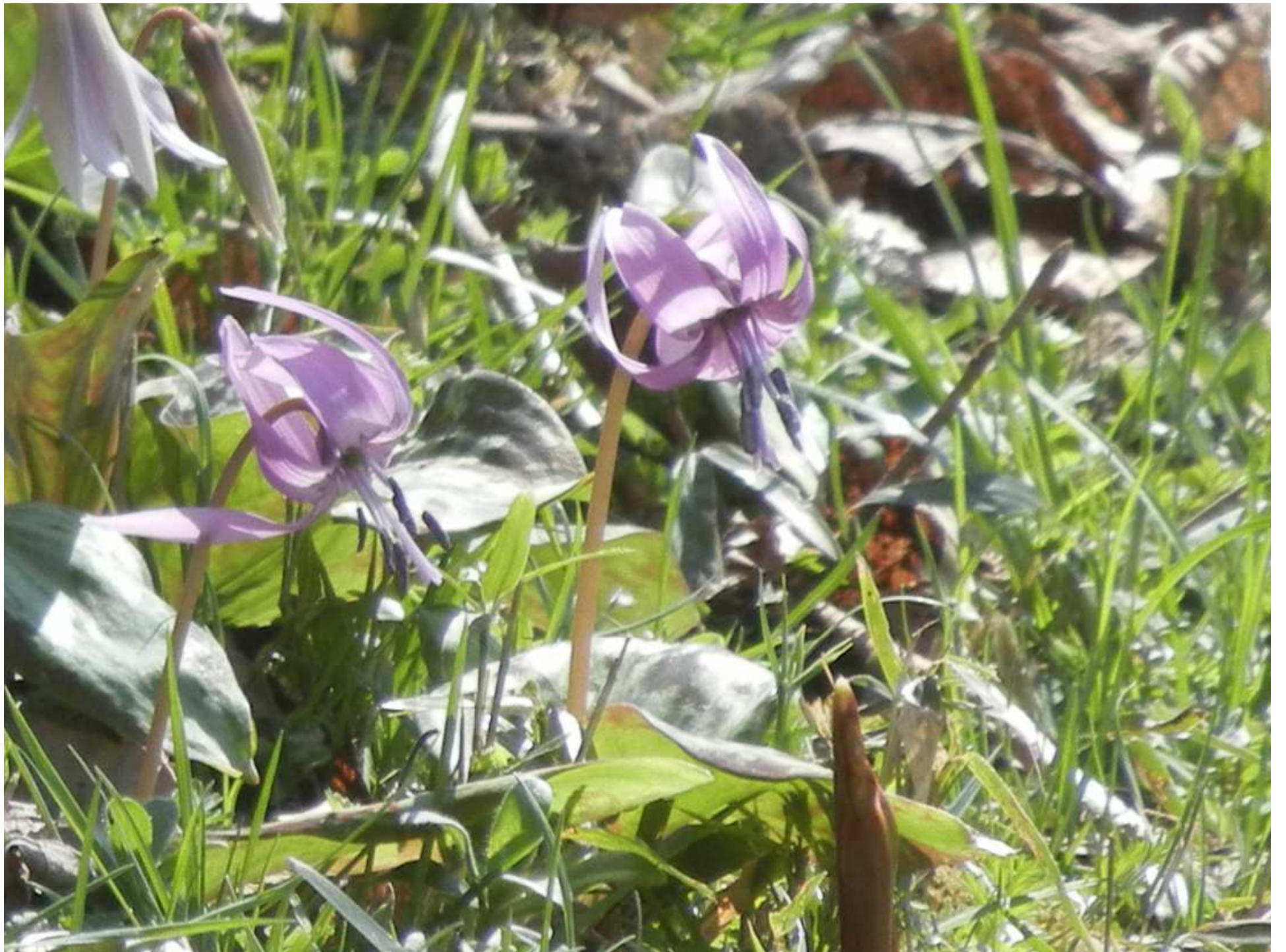








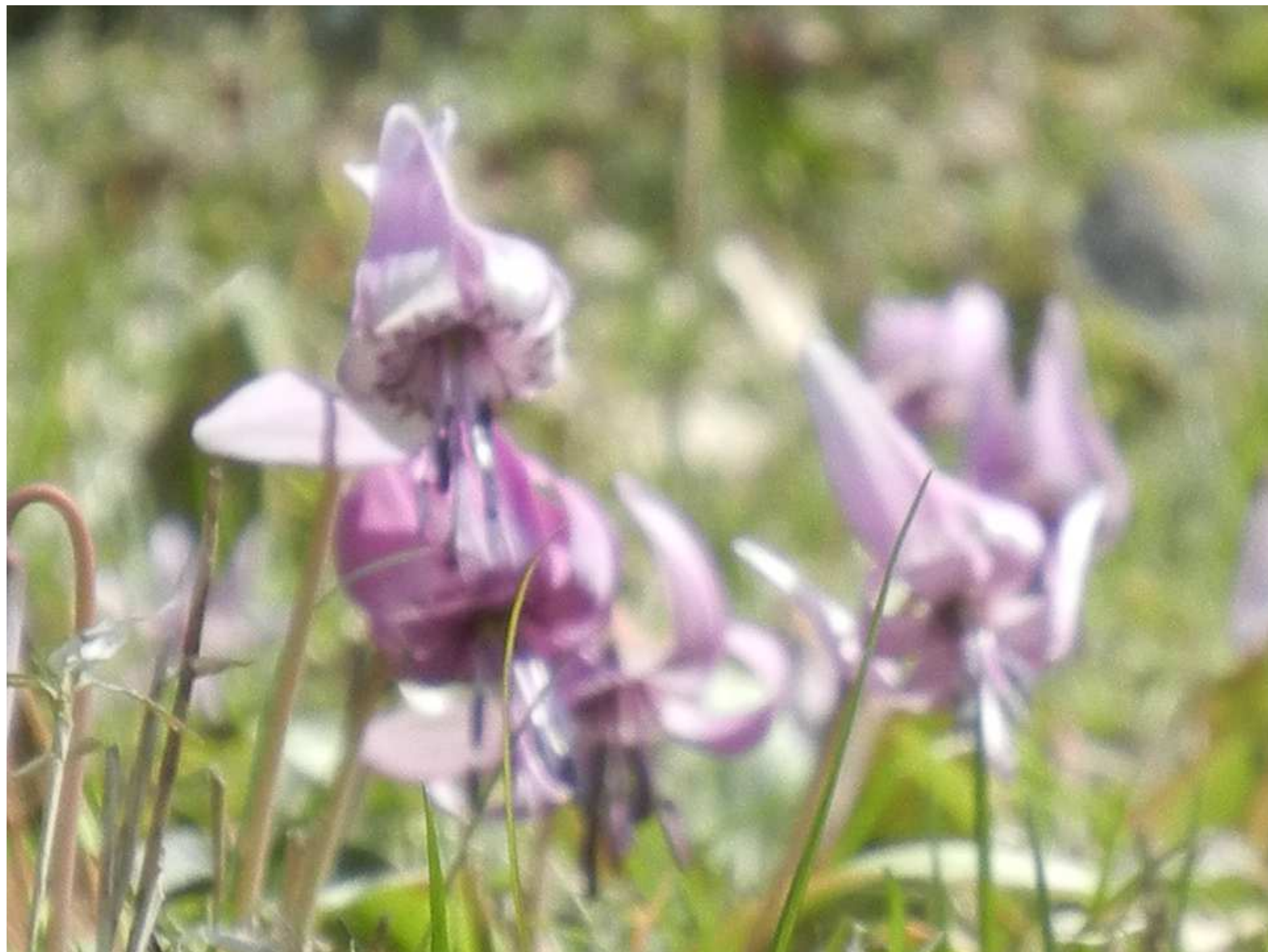
















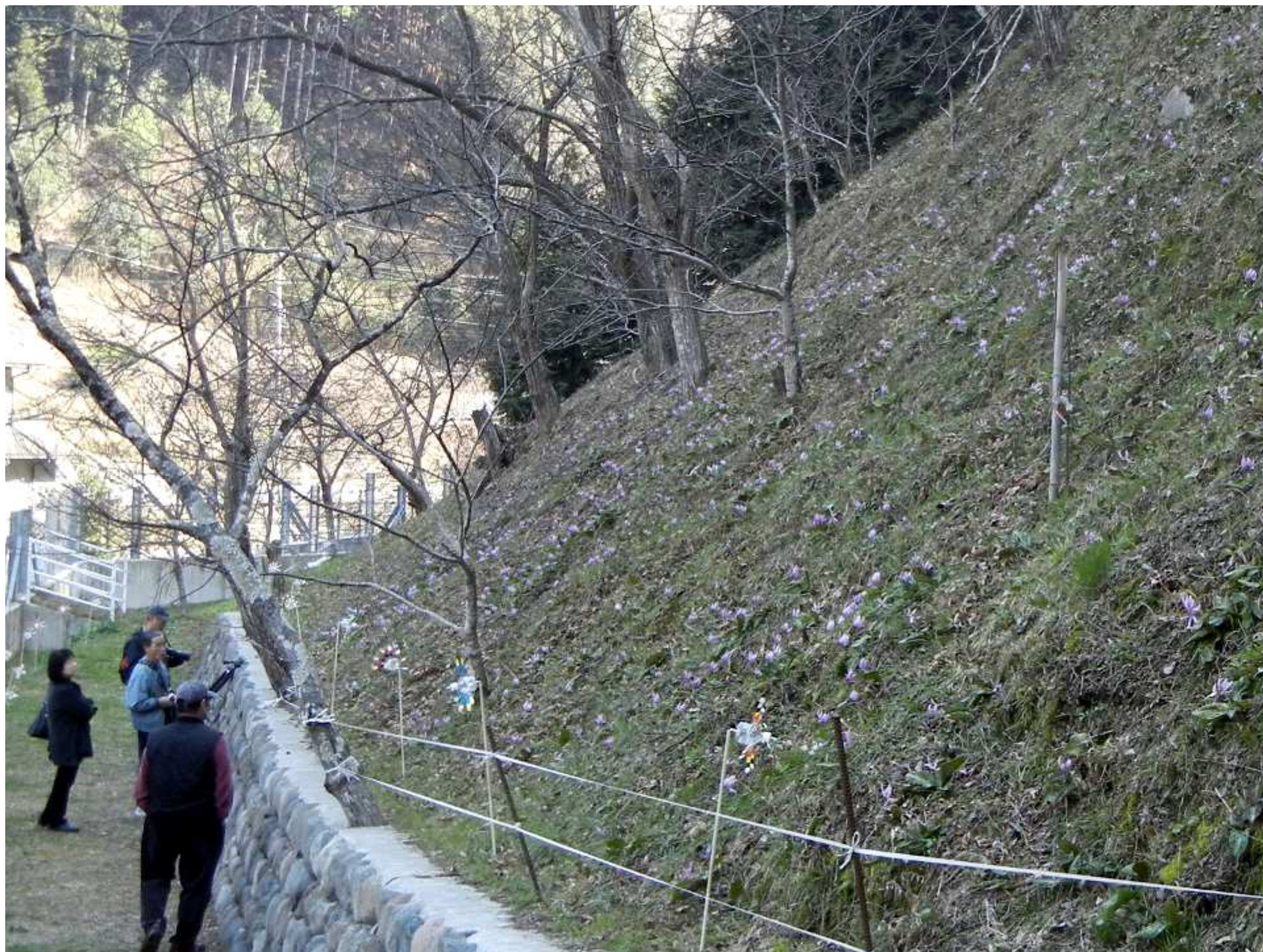




西播磨 旧三日月町弦谷 カタクリの里
2014.3.28.









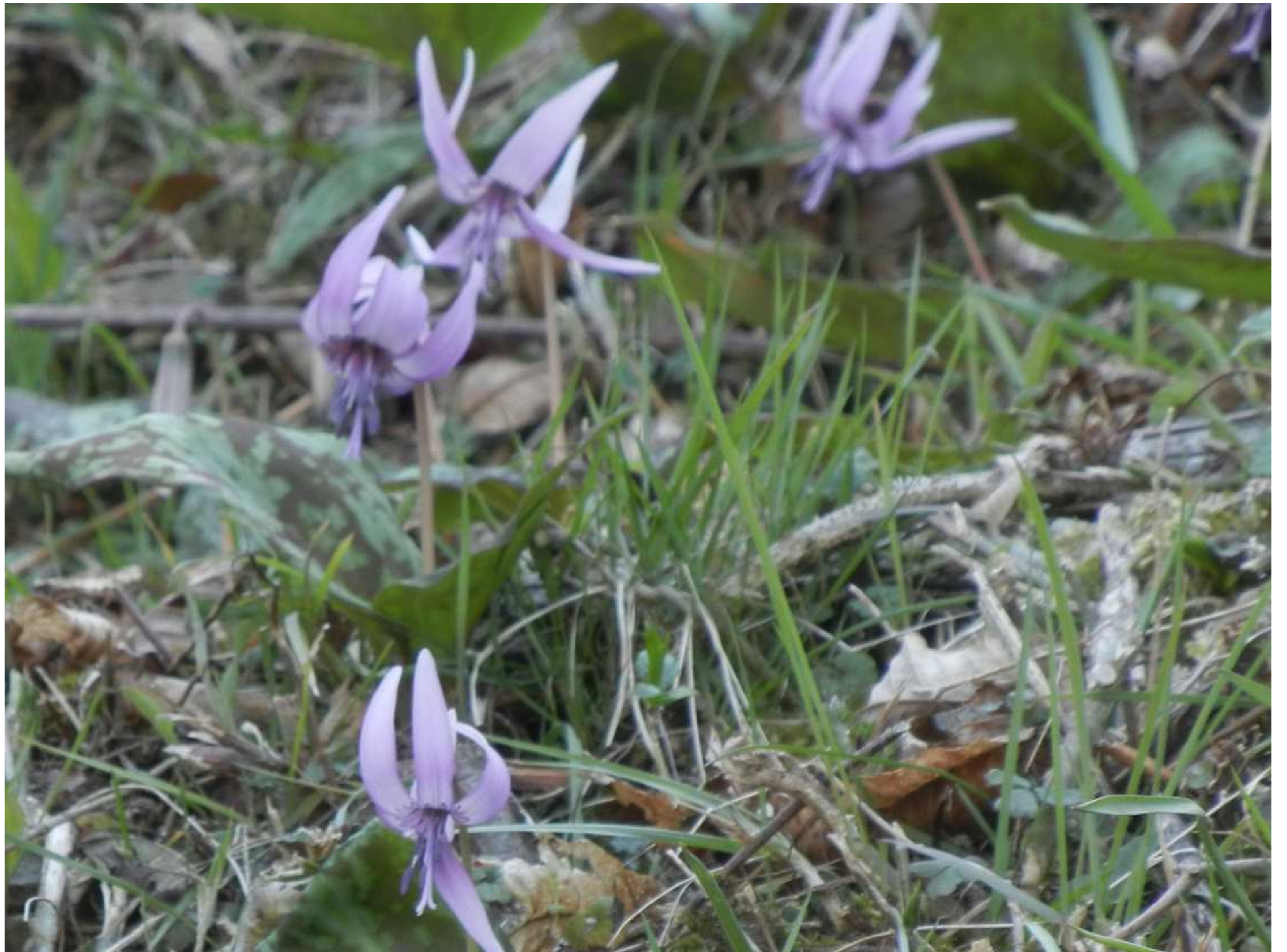














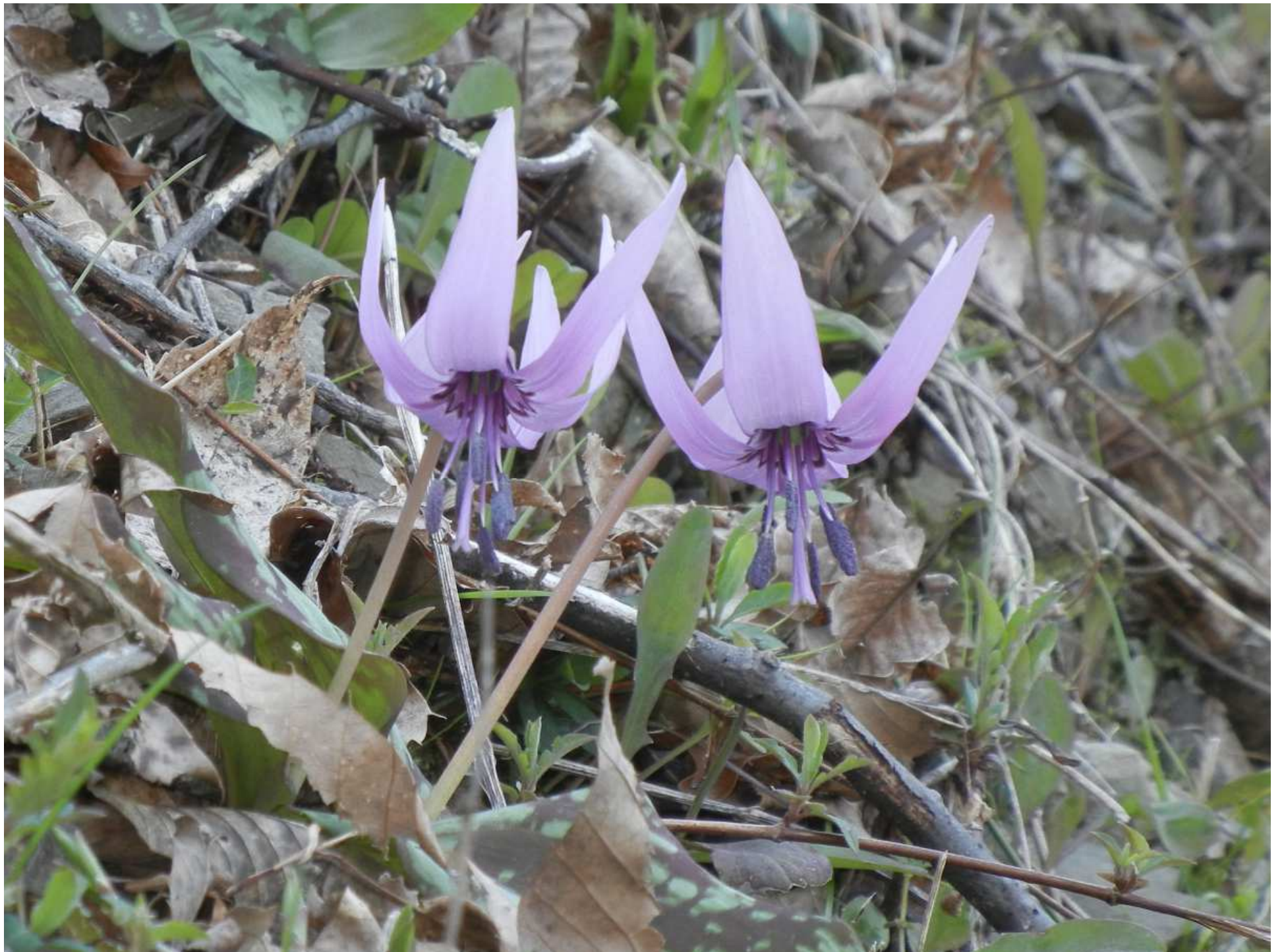


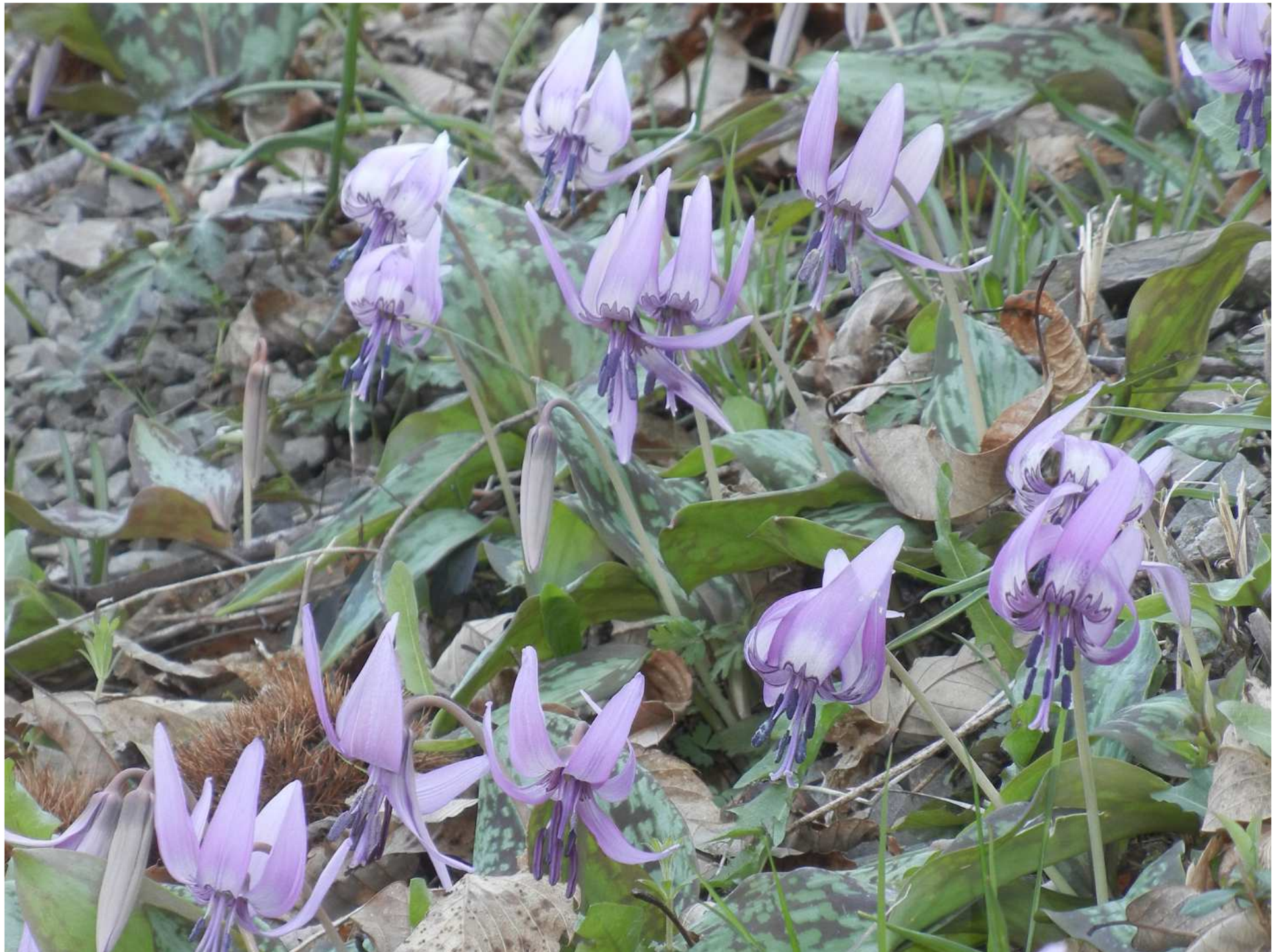








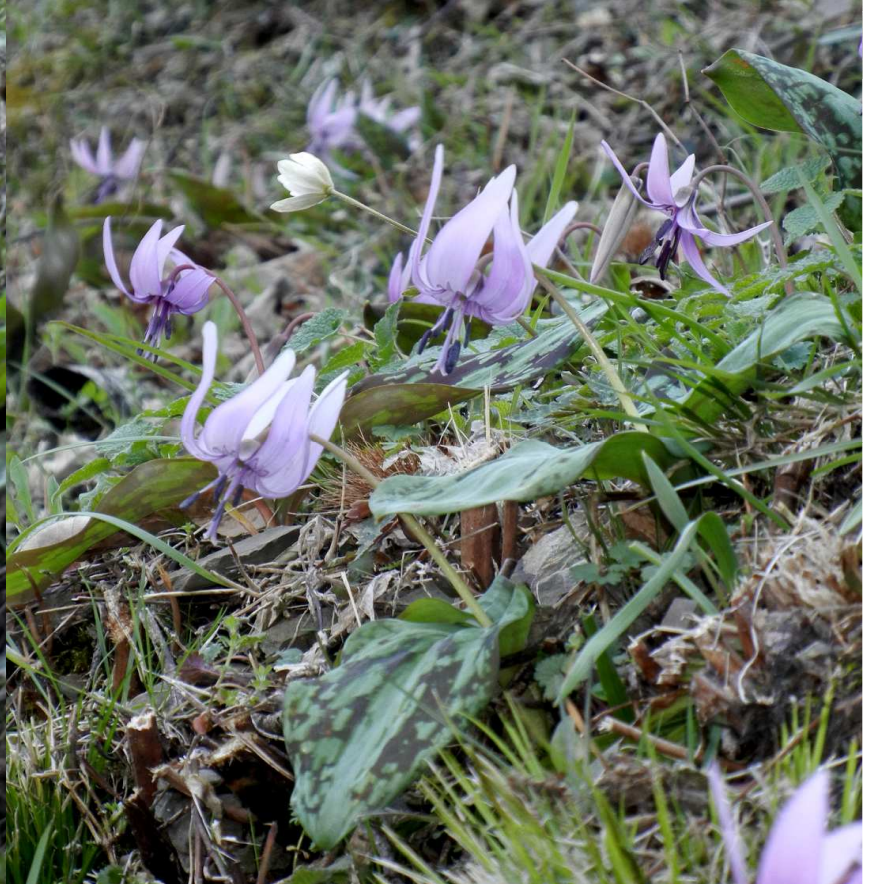
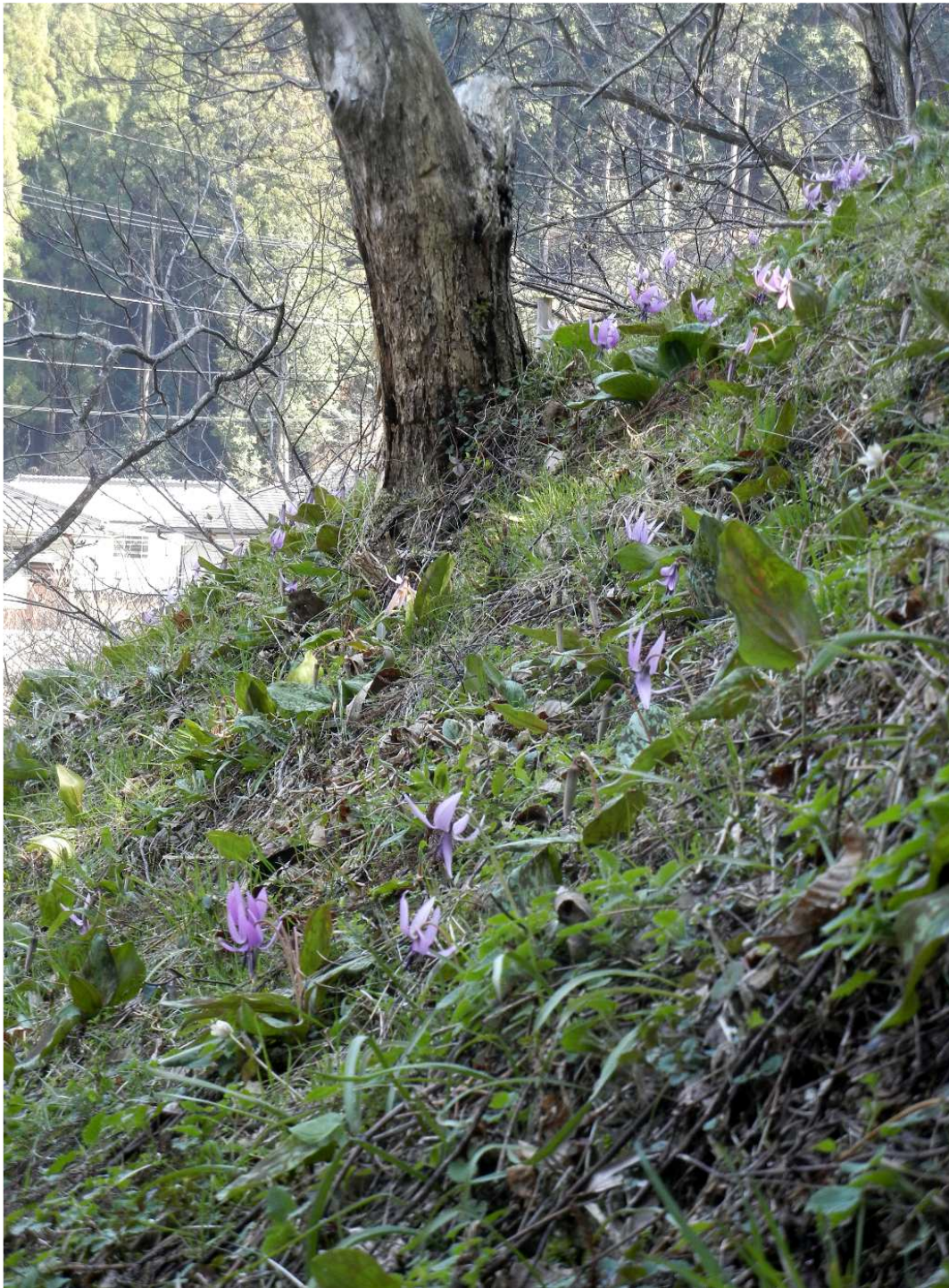












千種の山あいから南へ、尾根を挟んで西側徳久を流れる千種川。そして、東側の志文そして、旧三日月町を流れ下る志文川。この志文川の川筋にも転々とたたき跡があり、かつ志文川と佐用から、一宮へと続く出雲街道が続く三日月町を見下ろす丘の上に立派な陣屋がある。そのちょうど対岸の谷合の入り口が弦谷。

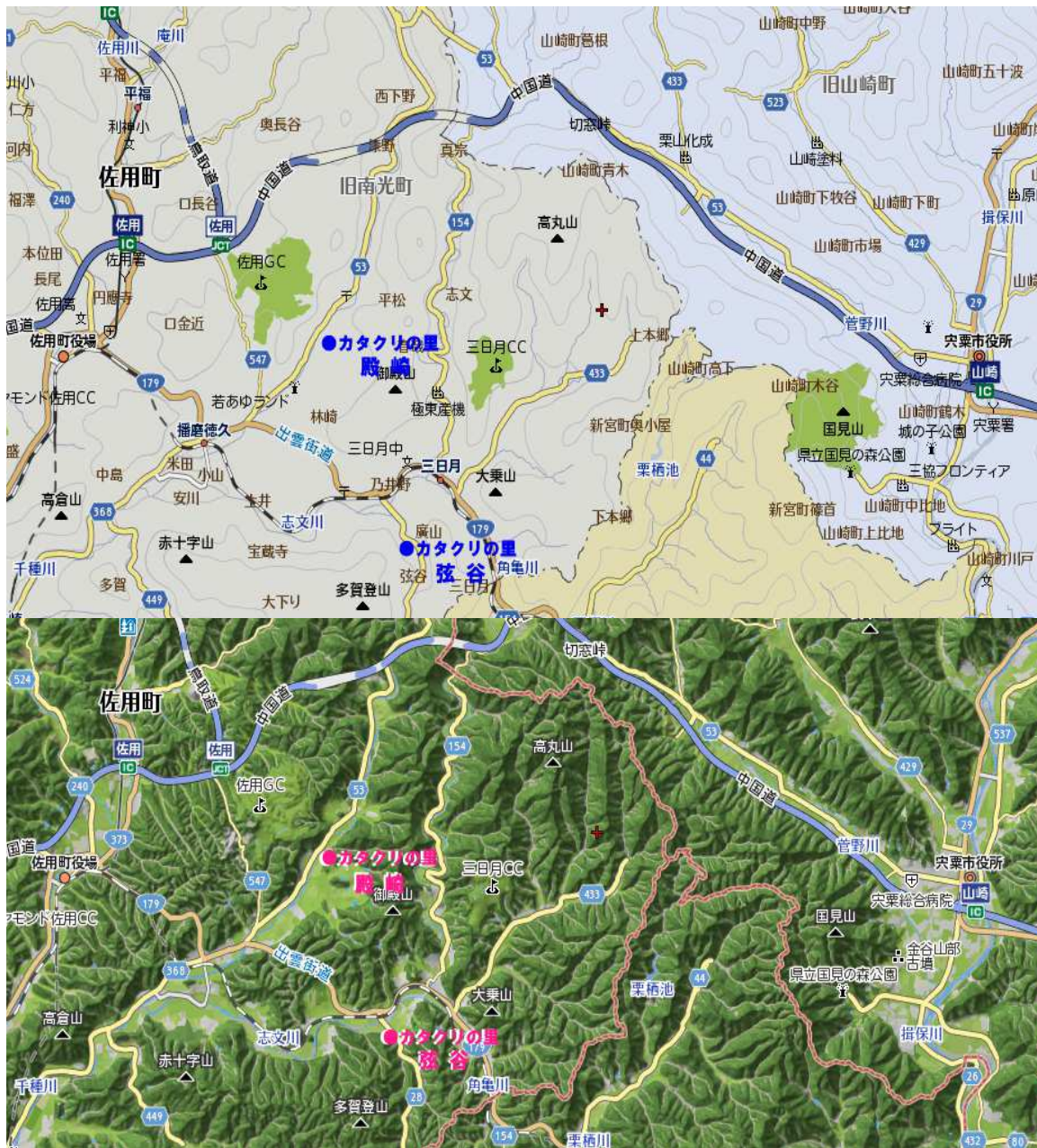
こんな川筋と街道との位置関係。

三日月町から千種へは 志文川を遡って、行くのが、徳久を抜けるよりも本道だったかもしれぬと…。 本当に立派な陣屋がありました。

弦谷には何度も通いましたが、この陣屋を見るのは初めてでした。

2014.3.28.







春を告げる妖精 「カタクリの花」

2014.3.28.

花言葉は
「初恋」・「寂しさに耐える」

地球氷河期の生き残り
8年かけて 地表に顔をだし
日陰の山腹の斜面で 冷たい風に身を打ち震わせて
立ち向かう姿に心をゆさぶられる

山合いを千種川が流れ下り、
四季折々 花が咲く静かな花の山郷
兵庫県播磨 佐用町 南光・三日月地区

その里山の傾斜地に
春の訪れを告げる「片栗の花」の群生地
旧南光町 東徳久殿崎 & 旧三日月町 弦谷

